

2024年度

法人事業報告 ~~(案)~~

社会福祉法人 からし種の会

1. 法人の基本理念

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者の人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安心で安全の快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に開かれた運営をめざします。

2. 法人の経営方針

キリストの愛と自由の精神に基づき、ご利用者一人一人のその人らしい自立した暮らしを継続支援していくことを目的に、社会福時事業と公益事業を適正かつ効果的に経営していく。そのために、次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

- 1 利用者・ご家族の意向を尊重し、自由な暮らしを継続支援する。
- 2 人材の確保・人材育成をもって、職場環境整備の充実を図る。
- 3 財政基盤の強化を図る。
- 4 地域と連携協力し、地域社会に貢献する。
- 5 キリストの愛と自由の精神に基づいて事業を経営する。

3 からし種の会が経営している各事業の安定化と質の向上

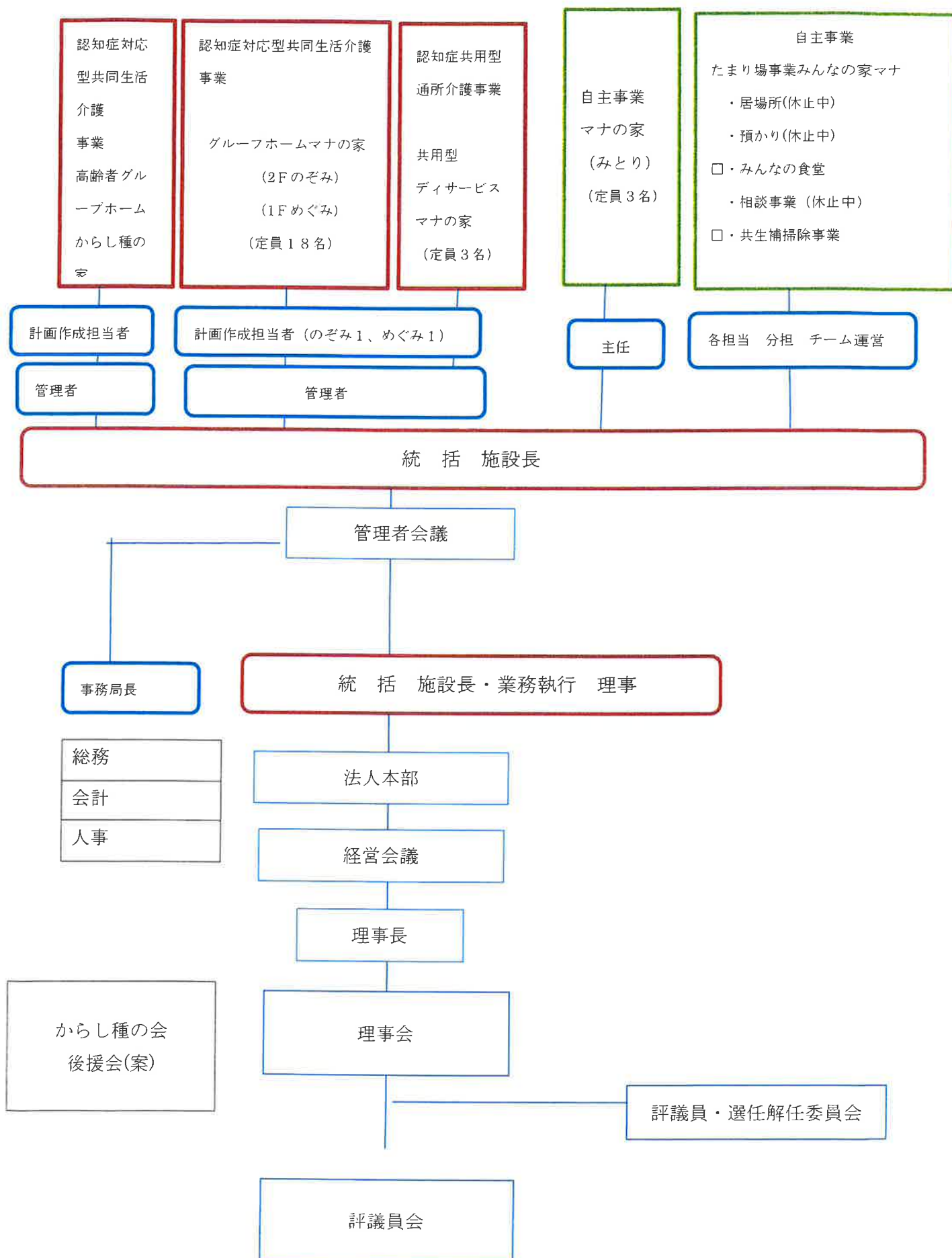
からし種の会	指定事業所 番号	指定事業所	事業所名	定員
社会福祉事業	1570102481	認知症対応型共同生活介護	高齢者グループホーム からし種の家	9名
	1590100697	認知症対応型共同生活介護	グループホーム マナの家	18名
	1590100697	共用型認知症対応型通所介護	共用型デイサービス マナの家	3名
公益事業		法人の独自事業・自主事業 1. 看取りの家 2. 地域公益事業	○マナの家	3名
			○みんなの食堂 第4月曜日 月1回お弁当配布 ○共生お掃除事業 毎週水曜日 9:30-11:30 就労支援事業所・気まま舎と連携	
活動中止中			○たまり場・みんなの家マナ 毎週月曜日 10:00~15:00 ○預かり（上記開催時間内2名まで） ○相談事業	

4 組織図

2025年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表

社会福祉事業

公益事業



5. 重点課題に対する評価

評価：○できた・△だいたいできた・×できなかった

(1) 福祉人材確保・人材の育成・定着

重点課題	取組み	評価
① 安定的に職員確保ができる仕組みの整備 ・求人内容、媒体、条件等の工夫 ・介護・認知症ケアの魅力の発信 ・学校等との連携	下記の表のとおり、年間採用者数は10名、離職者数が9名であった。掲示やハローワーク、派遣業者等活用しながらできるだけ経験者・有資格者の人材確保に努めてきた。	△
② 人材育成への取組み	退職者のうち、2名の管理者が離職となり、管理者要件等を満たす人材確保・育成が急務の為、他県の管理者研修1名、本県1名受講管理職の負担をどう減らすか、課題が残る。管理者・計画作成担当者の人材育成にむけて、実践者研修受講や資格取得等の支援を行った。	△
③ 人材の定着支援の取組み	役職手当を見直し、資格手当等給与規程を一部改正し改善を図った。人間関係等の相談、面談、短時間勤務等の配慮と支援に努めた。	△

《採用・退職状況》

	2024年度 当初	採用	退職	2025年度 当初
常勤	17人	7人	6人	18人
パート	19人	3人	3人	19人
職員数	36人	10人	9人	37人

(2) サービスの質の向上 各ホームの実践力を高める。

重点課題	取組み	評価
認知症の人が生き生きと暮らせる健康・生活づくりを共有し、各ホームの実践力を高める。 ・お出かけ号の活用、買い物や外出の機会を増やし、広げる。 ・各ホームの実践力を高める	人材不足が続く中で、各ホームの事業報告のとおり、月1回の合同外出がやっとの状態であった。離職、新採用の変化や重度化等により他施設への退居、入居の移動が多くみられるなど、目標には至らず、課題が残る。 一方で利用者、ご家族の面会、外出、外泊、看取り等でご家族参加の機会が多く持たれ、一層温かく、利用者にとってよい環境がつけられてきた。	×
・県内外のグループホーム交流・視察 ・地域に開かれた公開講演会を開催する ・認知症ケアに特化した研修の充実	人材確保ができず、県内外のGH交流・視察、ができなかった。 地域に開かれた公開講演会は1回開催された。	×

(3) 財政基盤の強化と健全化

重点課題	取組み	評価
① 財務基盤の強化 ・ 事業収入の拡大 ・ 収支状況の把握と管理	退居や入院等に伴い各ホームで空室が複数、長期空室などが生じたが全体を通して下記の表のとおりとなった。2024 年度の事業活動収入は 139,935,400 円で、当期資金収支差額は 1,202,394 円とあった。年 8 回の経営会議においてその都度、収支状況の把握と管理を行い適切に対応した。	△
② 資金収支バランスと既存事業の見直し	2024 年度の共用型デイサービスは更新時にあたり、手続きを行った。 年間の稼働率は 12.14%となった。しかし、人材確保ができないまま、8 月以降の利用者は 0 人であるため、改善しない場合、収支バランスと事業の見直しという課題は引き続き残る。	×

《各事業の利用実績（2024 年 4 月～2025 年 3 月）》

	からし種の家	マナの家・のぞみ	同・めぐみ	共同型デイ	愛隣包括事業
100%	9 名：3,285 日	9 名：3,285 日	9 名：3,285 日	3 名：313 日	3 名：1,095 日
実績	3,220 日	3,008 日	3,124 日	38 日	297 日
稼働率	98.02%	91.57%	95.10%	12.14%	27.12%

(4) 法人の事務局体制の強化

重点課題	取組み	評価
① 適正な人員確保	3 月の事務職員の満期退職にあたり、引継ぎ期間をもって職員を確保できた。会計処理に対応可能な人材確保に至らず、経理業務を外注し、事務局の実態に沿った体制の整備に努めたが、1 月～3 月の収支計算書を決算時まで見ることができない等の限界もみられる。外注先と協議しより効果的な改善策を見いだしていく必要がある。	△
② 老朽化した施設の移転建替え	木造住宅の法定耐用年数は 22 年で「からし種の家」施設と同年数にあたる。施設の移転建替えを検討していく時期ではあったが、人材不足の問題が解消されず、検討までに至らなかった。次年度課題としていきたい。	×

(5) 地域と協働・社会貢献活動

重点課題	取組み	評価
地域と協働・連携を図り、地域にし、社会貢献活動を継続して取り組む ・地域に開かれた愛隣包括事業の継続 ・地域との連携体制の強化 ・ボランティアやイベントへの参加	毎年恒例の地域と協働で、地域住民作品展や福祉バザーを子どもから高齢者等が参加し楽しむことができた。敬和学園大学の学生たち7名の参加があった。 愛隣包括事業の一つとしてみんなの食堂を毎月(第四月曜日)開催した。地域ボランティア(5～7名)の方々が定期的に参加され、喜ばれる活動を創造的に継続することができた。	○

6. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7名	6名	2名	4名

7. 評議員会、理事会開催実績

評議員会	第 1 回	2024 年 6 月 25 日	2023 年度事業報告、2023 年度会計決算報告、人事、共用型デイサービスに関する件、法人会計、その他
------	-------	-----------------	--

理事会	第 1 回	2024 年 6 月 10 日	2023 年度事業報告、2023 年度会計決算報告、人事、諸規程の一部改正、評議員会招集、その他
	第 2 回	2024 年 6 月 22 日	2023 年度決算の修正、諸規程の一部改正、その他
	第 3 回	2025 年 2 月 10 日	2024 年度補正予算、諸規程の一部改正、人事、その他
	第 4 回	2025 年 3 月 24 日	2025 年度事業計画、2025 年度予算、その他

8. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	当初借入額	2025 年 3 月末 償還済額	当期償還額	2025 年 3 月末 借入残額	備考
福祉医療機構	63,200,000 円	50,130,000 円	3,492,000 円	13,070,000 円	既存マナの家
	85,000,000 円	27,866,000 円	4,452,000 円	57,134,000 円	増床マナの家
計	148,200,000 円	77,996,000 円	7,944,000 円	70,204,000 円	

9. 経営会議（2024年度）

実施回	実施日	検討内容	人数
第1回	2024年5月20日	共用型デイサービスマナの家の運営状況について、職員人事について、入居について、管理者研修・実践者研修受講について	4名
第2回	2024年6月17日	2023年度決算の修正について、法人の会計処理について、業務委託について	5名
第3回	2024年9月30日	会計報告、からし種の会経営状況について、共用型デイの指定更新について、法人・地域全体研修会について	4名
第4回	2024年10月28日	会計報告、共用型デイ指定更新について、(9/27提出)、今後の共用型デイ・公益事業の運営について、法人の役員について、職員の異動・人材不足について	4名
第5回	2024年11月18日	会計報告、社会福祉充実残額の見込、2024年度補正予算について、介護サービス情報公表について、人材確保について、デイ更新申請通知(→今後6年間デイ運用可)	5名
第6回	2024年12月16日	会計報告、2024年度補正予算について、職員確保について(人件費の引き上げ検討)	5名
第7回	2025年1月20日	会計報告、2024年度3月末見込、2024年度補正予算について、人材確保について、補正予算理事会実施予定。	5名
第6回	2025年3月17日	会計報告、2024年度3月末見込、社会福祉充実計画残額、3月末見込	5名

10. 管理者会議（2024年度）

回	日付	協議事項/報告事項	出席者
第1回	2024年4月23日	・利用者さん状況・職員について・福祉のお仕事就職フェアについて・人事について（ハローワーク、求人情報誌掲載） ・2024年度の予定 ①介護報酬改定により4月分請求から変更あり。 ②管理者変更届5/1提出予定。 ③2023年度決算5/27確定。5/30~6/2業務監査。	4名
第2回	2024年5月27日	・利用者さん状況・職員について・人事について ・共用型デイサービスについて・その他、連絡・報告事項 ・管理者研修・実践者研修について ・法人経営運営会議について ・決算、業務監査、会計監査について ・理事会・評議員会について（決算報告）	5名
第3回	2024年6月24日	・利用者さん状況・職員について・人事について ・共用型デイサービスについて（7月予定）休止検討。 ・管理者・実践者研修について	4名

		・理事会について（2023 年度決算の修正） ・評議員会について（事業報告、決算報告予定） ・登記申請について ・6/28 財務諸表電子開示システム提出、現況報告書提出。 ・7/10 福祉医療機構 事業報告書・施設状況書提出。 ・処遇改善計画書提出。	
第 4 回	2024 年 7 月 29 日	・利用者さん状況・職員について・人事について からし→管理者変更・計画作成者変更 新潟市へ変更届提出予定・共用型デイサービスについて ・今後の面会について・2024 年度委員会活動について ・職員名札作成について	5 名
第 5 回	2024 年 8 月 27 日	・利用者さん状況・職員について・人事について ・利用者の貴重品・所持品の取り扱いについて 同意書の作成、署名依頼・共用型デイサービス指定更新について ・機関紙について ・BCP 訓練ワークショップ（年 2 回） 西村、樋口申込、その後職員研修 ・自治会防災避難訓練→防災担当者・入所者参加 ・備品購入予定について	5 名
第 6 回	2024 年 9 月 21 日	・利用者さん状況・職員について・人事について からのケアマネ、ケアプラン、介護福祉士、事務 ・機関紙について ・共用型デイについて 指定更新 9/27 完了 ・福祉バザーについて(11/3 開催予定) ・全体研修会開催について（職員全員参加） ・高齢者虐待防止研修について（廣川さん参加） ・ボランティアの受け入れについて ・クリスマスカードの注文について（はがきに変更） ・予防接種について	5 名
第 7 回	2024 年 10 月 21 日	・利用者さん状況・職員について・人事について ・福祉バザーについて・共用型デイサービス指定更新について ・BCP 訓練ワークショップ 10/23 西村、樋口参加予定 ・高齢者虐待防止研修について 廣川さん受講→職員へ研修 ・ネット回線と固定電話の故障と対策について	5 名
第 8 回	2024 年 11 月 25 日	・利用者さん状況・職員（人事）について ・2024 年度整備が必要な項目、修繕が必要ものについて リビングエアコン、非常用照明バッテリーの交換、PC、タイヤ 等・介護サービス情報の公表（11/29 提出期限） ・BCP 職員周知の研修を今年度中に実施 ・マナの家外部評価資料の作成 ・共用型デイ指定更新について	5 名

		事業者指定更新通知書届き、6年間事業運営可能。 ・クリスマス会、礼拝、祝会について	
第9回	2024年12月21日	・利用者さん状況・職員（人事）について ・12/23（月）クリスマス会・マナの家外部評価資料の作成 ・年末年始について（食事、外泊等） ・公開講演会について（2025.1.25）講師須貝秀昭様 ・BCP今年度中に職員周知の研修を実施（災害時等） ・職員面談 人事評価 処遇改善加算取得要件	4名
第10回	2025年1月20日	・利用者さん状況・職員（人事）について ・マナの家外部評価(2025.2.22) ・公開講演会 2025.1.25 10-11:30 「身寄りがなくても地域で最期まで自分らしく」講師：須貝秀昭 ・BCP 職員周知の研修 感染症・災害時等について ・成年後見の研修を2025.3月（大澤先生） ・職員面談、人事評価。処遇改善加算取得要件 ・電話機・主装置交換	5名
第11回	2025年2月17日	・利用者さん状況・職員について ・マナの家外部評価 2025.2.22、調査員2名 ・BCP 職員周知の研修。2/17（月）非常食の試食。 ・職員面談、人事考課について・電話機・主装置交換について ・修繕、備品追加購入について ・成年後見制度・権利擁護について職員研修を実施。 講師：大澤弁護士 3/27（木）18-19:30 ・ブルーオーシャン契約 2025.5月契約終了 その後、契約更新 or 他のソフトを使うか検討が必要。 ・2025事業計画案、2025予算案の作成・提出	5名
第12回	2025年3月17日	・利用者さん状況・職員（人事）について・マナの家外部評価 ・修繕予定について ・成年後見制度・権利譲渡について職員研修実施（個人情報保護） ・電話機・主装置交換	5名

1 1. 2024年度共生お掃除事業 実施報告

	実施日	場所	作業内容	人数
1	2024.4.3	みんなの家/地階いこい/地階トイレ	掃除機をかける/床のモップ掛け/椅子、机、手すり・スイッチ部分を消毒/ゴミ回収	4名
2	2024.4.10	地階いこい/地階トイレ/庭	同上、草取り	4名

4	2024.4.24	みんなの家/地階いこい/地階トイレ	同上	4名
5	2024.5.1	みんなの家/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
6	2024.5.8	地階いこい/地階トイレ	同上	4名
7	2024.5.15	みんなの家/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
8	2024.5.22	みんなの家/地階いこい/地階トイレ/庭	同上、窓ふき、駐車場清掃	4名
9	2024.5.29	みんなの家/地階いこい/地階トイレ/庭/1階トイレ	床掃除/トイレ掃除//ゴミ回収同上	4名
10	2024.6.5	みんなの家/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
11	2024.6.12	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
12	2024.6.19	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
13	2024.6.26	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
14	2024.7.3	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
15	2024.7.10	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
16	2024.7.17	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
17	2024.7.24	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
18	2024.7.31	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
19	2024.8.7	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
20	2024.8.21	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
21	2024.8.28	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
22	2024.9.4	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
23	2024.9.11	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
24	2024.9.18	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
25	2024.9.24	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
26	2024.10.2	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
27	2024.10.9	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
28	2024.10.16	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
29	2024.10.23	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
30	2024.10.30	みんなの家/地階いこい/地階トイレ/洗面台/庭	同上	4名
31	2024.11.6	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
32	2024.11.13	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
33	2024.11.20	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ/庭	同上	4名
34	2024.11.27	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/トイレ/洗面台	同上	4名
35	2024.12.4	みんなの家/1階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	3名

36	2024.12.11	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/トイレ/洗面台	同上	4 名
37	2024.12.18	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	3 名
38	2024.12.25	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	2 名
39	2025.1.8	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
40	2025.1.15	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
41	2025.1.22	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
42	2025.1.29	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
43	2025.2.5	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	3 名
44	2025.2.12	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
45	2025.2.19	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
46	2025.2.26	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	3 名
47	2025.3.5	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
48	2025.3.12	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
49	2025.3.19	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	4 名
50	2025.3.26	みんなの家/1 階トイレ/地階いこい/地階トイレ	同上	3 名

12. ハラスメントの防止について

2023 年 4 月 1 日より、職員がいつでも相談出来るようにハラスメント相談窓口を設置したが、2024 年度については、特に相談はなかった。

2024年度 法人事務局事業報告(案)

<法人事務局 具体策>

- ① 事務局としての業務内容を理解し、より専門性を高めるよう心掛けた。
- ② 事務局内での連携をはかり、各業務が適切かつ迅速に行われるように努めた。
- ③ 事務職内での定期ミーティングにより、業務予定や計画、他社への連絡等を確認し合い情報共有した。
- ④ 日々、行政機関等からのメールを確認し、各事業の管理者へ連絡すると共に必要書類を作成し提出した。
- ⑤ 研修等の案内については、各事業の管理者及び受講者へ通知し、必要事項の連絡を行った。
- ⑥ 事務局業務が日々増えていることから、書類の作成提出に関し、より迅速かつ効率化を図る為、電子申請化を実施した。
- ⑦ 書類の整理・保存に関し、毎年度の書類の保存量が多く、保存場所の確保が難しくなっていることから、電子帳簿での保存も始めた。

<総務>

- ① 理事会及び評議員会等が円滑に行われるように役員と連絡、相談を重ねた。
- ② ワーク社労士事務所との顧問契約により、労務に関し職員が働きやすい労働条件になるよう諸規程等について協議を行った。
- ③ 処遇改善加算等の書類提出がある場合、社会保険労務士と相談を重ね、適正な書類作成と申請に努めた。
- ④ 人事評価制度については、評価シートへの記入や全職員へ面談を行う等、書類作成や職員への説明に関し、スムーズに実施出来るように努めた。

<会計>

- ① 日々の会計処理について、出納帳等の記入間違いや残高の不一致がないように確認を行った。
- ② さくら総合会計へ仕訳入力等の業務委託をしたことにより、定期的に会計資料を送り、遅れが生じないように努めた。
- ③ さくら総合会計の隔月の巡回監査により、会計の適正化を図るとともに内容の確認を行った。
- ④ 理事を含めた経営会議を8回開催し、会計事務所による分析やアドバイス等、経営状況を確認し合い、年度末の収支見込や社会福祉充実残額について定期的に協議を行い、共通理解を深めた。

<人事>

- ① 職員の求人について、求人サイトや専門業者主催の企業説明会等に出来るだけ多く参加した結果、複数名採用することができた。

- ② 新人職員の採用にあたり、各事業の管理者と連携し育成指導していくことに努めた。
- ③ 正職員の退職もあり、職員不足は引き続き続いていた為、人材紹介会社を利用せざるを得ない状況もあった。

<その他>

- ① ご利用者の介助中や、職員が少ない夜間帯の固定電話での対応が難しいとの声があり、職場環境改善を含め、スマホでの電話に切り替えることとしたが、やり方が変わり慣れるまでには時間がかかると思われる。
- ② 共有フォルダー等について、データ管理のより効率化・セキュリティーの強化を予定していたが、そこまで至らなかった。
- ③ 事務職員を新規採用出来た為、1つ1つ丁寧に伝え理解していくように努めた。
- ④ ご利用者の受診や緊急時の対応について、協力医療機関との連携に関する契約書を、文言を追加し、改めて交わした。(済生会新潟病院、信愛病院、クララクリニック)
- ⑤ ご利用者の退居に伴い、各ホームで空室期間が生じ収入の減少となっていたため、入居の紹介サイトを利用せざるを得なくなり、結果的に紹介手数料を支払うこととなった。又、紹介業者からの問い合わせや事務的対応が増え、業務負担となった。

キャリアパス研修実施計画表(R6年度)

氏名	キャリアパス対応研修名	主催者	実施予定日	研修会場	申込開始	申込日	受講承認日	2025/4/2 現在	
								料金	研修報告
下川直子	認知症介護基礎研修	厚生労働省	R6.6.1(土)	eラーニング	URL申込			3,000	6/1 修了証書
田中敬子	介護職員初任者研修	株式会社ニチイ学館	R6.7.12(金)	ニチイ学館				40,000補助	7/12 修了証書
西村富美子	認知症対応型サービス事業、管理者研修	茨城県知事	R6.7.23(火)	ZOOM		6/7		3,000	7/23 修了証書
小林和希	認知症介護実践者研修	新潟市長	R6.6.21(金) R6.8.23(金)	新潟テルサ			5/21	20,000	8/23 修了証書
菅原小夜子	認知症介護実践者研修	新潟市長	R6.10.29(火) R6.12.24(火)	新潟テルサ		9/2	9/25	20,000	12/24 修了証書
樋口俊介 西村富美子	令和6年度福祉サービスに関する苦情受付 担当者等研修会	新潟県社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会	R6.7.2(火)	新潟ユニゾンプラザ				3,200×2人	7/18
高橋律子	介護職員等処遇改善等加算セミナー	介護労働安定センター	R6.9.17(火)	オンライン	URL申込			-	9/20
廣川祐樹	令和6年度新潟市要介護施設・養介護事業者向け 高齢者虐待防止研修会	新潟市	R6.10.10(木)	オンライン	URL申込			-	10/10
樋口俊介	BCP訓練ワークショップ	新潟県	R6.10.23(水)	新潟県自治会館				-	10/29
小林和美	令和6年度 結核感染症研修会	新潟市保健所	R6.11.20(水)	黒崎市民会館				-	11/24
小林和希	新潟県認知症対応型サービス事業管理者研修	新潟県知事	R7.2.17(月) ～R7.2.18(火)	社会福祉法人長岡三古老人福祉 会「研究・研修センター長岡」		1/6		4,300	修了証書
高橋律子 土田成子	業務継続計画(BCP)の策定後の研修及び 訓練に関するオンデマンドセミナー	厚生労働省委託事業	R7.2.18(火)	オンライン	URL申込	2/18		-	2/18
土田成子 高橋律子	令和6年度新潟県介護施設看護職員等研修	新潟県	R7.3.21(金)	オンライン	URL申込			-	3/24

法人主催研修実施計画表(R6年度)

社会福祉法人 からし種の会

参加者数		キャリアパス対応研修名		主催者	実施予定日	研修会場	案内日	料金	研修報告	その他
計6名		2024年度 新規職員研修		社会福祉法人 からし種の会	R6.7.15(月)	マナの家地階「いこい」	各日に案内	-	7/15	
からし2名		古川麻希子、小池令美		"	"	"		-	"	
マナ4名		下川直子、田中敬子、大関亜子、菅原小夜子		"	"	"		-	"	
計9名		第1回「身体拘束廃止、高齢者虐待防止」研修会		社会福祉法人 からし種の会	R6.12.26(木)	マナの家地階「いこい」	12/21	-	12/28	
からし1名		山崎ハコネ		"	"	"		-		
マナ8名		小林和美、大関亜子、武藤道子、小林素子、 野口昌嗣、伊藤君子、廣川祐樹、土田成子		社会福祉法人 からし種の会 (身体拘束廃止虐待防止 委員会)	"	"		-		
計13名		公開講演会「身寄りがなくても地域で最後まで自分らしく」		社会福祉法人 からし種の会	R7.1.25(土)	マナの家地階「いこい」	2ヶ月程前	-	1/25	講師 森正海 ZOOM対応
からし2名		齋藤信恵、山崎ハコネ		"	"	"		-		
マナ5名		大関亜子、伊藤君子、秋山正江、武藤道子、土田成子		"	"	"		-		
地域3名		宗村順司、佐藤静子、島崎		"	"	"		-		
事務職員3名		高橋律子、斎藤勝利、中山祥子		"	"	"		-		
計15名		1回目 BCP業務継続計画及び、感染症予防研修		社会福祉法人 からし種の会	R7.1.28(火)	マナの家 のぞみリビング	1/20	-	1/20	
入居者9名 のぞみ職員 5名		西村富美子、秋山正江、石川久栄、城家泰博、土田成子		"	"	"		-		
事務職員3名		高橋律子、中山祥子、石井仁奈		"	"	"		-		
計14名		1回目 BCP業務継続計画及び、感染症予防研修		社会福祉法人 からし種の会	R7.1.30(木)	マナの家 めぐみリビング	1/20	-	1/20	
入居者7名 めぐみ職員 7名		樋口美幸、菅原小夜子、小林素子、大田宏子、 伊藤君子、斎藤圭子、土田成子		"	"	"		-		
計30食分		2回目 BCP研修 非常食づくりと食事を食べる		社会福祉法人 からし種の会	R7.2.17(月)	マナの家 のぞみ・めぐみ	2/10	-	2/17	
入居者8名 のぞみ職員 5名		西村富美子、田中敬子、大関亜子、土田成子、石川久栄		"	"	マナの家 のぞみ		-		
入居者7名 めぐみ職員 4名		樋口美幸、治岐太朗、菅原小夜子、小林素子		"	"	マナの家 めぐみ		-		
事務職員4名		高橋律子、今岡勝利、中山祥子、石井仁奈		"	"	事務室		-		

計14名	成年後見制度と個人情報保護について	社会福祉法人 からし種の会	R7.3.27(木)	マナの家 階「いこい」	3/5	-	3/27	講師 井根士 ZOOM対応
からし3名	齋藤信恵、廣川祐樹、古川麻希子	"	"	"		-		
マナ8名	西村富美子、秋山正江、武藤道子、森智志、大田宏子、伊藤君子、小池弘子、土田成子	"	"	"		-		
事務職員3名	高橋律子、今岡勝利、石井仁奈	"	"	"		-		
計7名	高齢者虐待(不適切ケア)と身体拘束を考える。(伝達講習)	社会福祉法人 からし種の会	R7.3.28(金)	マナの家 めぐみリビング	3/21	-	3/28	
マナ7名	大田宏子、治嶋太郎、森智志、樋口美幸、小林素子、西村富美子、土田成子	"	"	"				

高齢者グループホームからし種の家 2024 年度事業報告

基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

- 1、ご利用者の心身の症状の変化を受け止め、一人一人に寄り添った細やかなケアを行う。
- 2、感染症予防対策を行いながらも地域、ご家族との交流、外出などホーム内以外の楽しみごとを増やしていく。
- 3、各委員会の主体的な運営と役割の向上。
- 4、ご利用者の退居や入院による空室期間の短縮を目指す。

行動計画

1 <具体策>

- ・認知症の進行や身体機能の低下は時間と共に避けられないが、できなくなってきたところ、わからないところをさりげなく支援できるよう個別のケアの方法の検討、伝達を職員で取り組む。ご本人の様子、「声（してほしいこと、不安なこと）」を申し送りで共有していく。変化があればご家族にもお伝えし、一緒に考えていく。
- ・認知症ケア、介護技術についてのレベルを各職員があげていけるような個々の状態に応じた研修の機会を提供する。

1 に対して

ご本人の訴えに寄り添い傾聴し日々の申し送り、職員会議等で共有できた。また今ご本人にできることを見極めできる限りご本人の力を活かせるようケアしていた。職員によってはご本人の意思や思いをうまく汲み取ることができないことあり今後の課題である。

2＜具体策＞

- ・気候に合わせてホーム周辺の散歩の機会をそれぞれのご利用者ごとに作る。また、少量の買い物であればマスク着用の上、ご利用者と一緒に行く機会を作る。歩行状態、歩行可能な距離を把握し、無理のないよう介助する。
- ・街中や海岸沿いなどご利用者の希望をお聞きしたドライブの実施（人数によってはマナの家ノアも借りる）。運転や乗り降りの支援等職員同士協力して実施する。
- ・敬老会など地域の行事にも可能な範囲で参加する。感染予防対策行い、時間や行く方は事前に計画を立てて実施する。外出できる職員体制も整える。
- ・ご家族との面会の予約時は希望に添えるよう時間調整し、環境を整える。（清掃、整理整頓、快適な温度、明るさ）ご本人の様子やご家族の思いをお聞きする場として各職員が対応し、ご家族とのコミュニケーションを図る。

2に対して

ノアを利用してマナの家、からし種の家合同での外出を定期的の実施できた。

喫茶店やふるさと村等に行き気分転換していただけた様子。

また普段のホームの買い物にもお誘いしご本人用のお菓子や日用品の購入を支援する機会多く作れた。

面会に関しては積極的にしていただいたが臨時面会室の環境整備をする必要ある。

3＜具体策＞

- ・マナの家職員と合同で特にリスクマネジメント、身体拘束廃止、虐待防止、感染対策の各委員会活動を各指針に沿って責任を持って行う。
- ・委員会ごとに研修の実施やマニュアルの見直しなど日々のケアの向上に活かせる取り組みを行う。

3に対して

委員会によって積極的に動いていたものとうまく機能していないものがあった。職員異動があり委員会構成員が変更あったことや、リスクマネジメント委員会に関しては「からし種の家」の中での事故、ヒヤリハットをまとめることができたが「マナの家」を交えての活動、取り組みはできなかったことは課題である。

4＜具体策＞

利用者目標 計画

2020 年度 実績	2021 年度 実績	2022 年度 実績	2023 年度 実績 (2 月末時点)	2024 年度 実績
95.40%	97.95%	97.56%	97.57%	98.02%

- ・空室が出た場合は居宅介護支援事業所や病院、施設へ空室情報を一括送信し、申し込み者の確保に努める。

- ・入院時のご家族、病院と情報共有を行い、ご本人にとってよりよく過ごす場所を考え、退院後の受け入れ態勢の整備や他の入所先の相談など一緒に検討していく。

4 に対して

2024年度2度あった入退居の空室期間はいずれも2か月以内だった。

入院先からの移動はなかったがホームから別施設への移動は入所先と連携しご本人、ご家族に負担、不安が少ないよう繋げることができた。

7. 行事・面会・外出等報告

高齢者グループホームからし種の家

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
行事	寺尾中央公園花見 4名	端午の節句（しょう ぶ湯）		七夕 おやつ作り	夏祭り	敬老のお祝い ゲーム大会
散歩	6名 18回	5名 11回	6名 10回	5名 2回	0回	1名 1回
外出等	買い物（3名5回） 外出1名1回	買い物（4名5回） ドライブ（1名1回）	買い物（4名4回） 合同外出（1名1回） 床屋（1名1回）	買い物（6名6回） 合同外出（1名1 回）	買い物（1名1回）	買い物（4名4回） ドライブ（1名1回） 床屋（1名1回）
面会	延べ7名6回/ （利用者3名）	延べ14名11回/ （利用者7名）	延べ4名2回/ （利用者2名）	延べ10名8回/ （利用者5名）	延べ26名9回/ （利用者5名）	延べ5名3回/ （利用者3名）
その他						

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事		福祉バザー（7名4 回）	クリスマスお楽しみ会	お正月	節分豆まき	ひな祭り
散歩	1名1回	4名4回	0回	0回	0回	0回
外出等	買い物（2名2回） ドライブ（1名1回）	買い物（2名2回）	買い物（1名1回）	買い物（2名4 回） ドライブ（2名 4回） 外出 1名1回	買い物（0名0回）	買い物（1名1回）
面会	延べ3名3回/ （利用者3名）	延べ8名6回/ （利用者6名）	延べ2名2回/ （利用者2名）	延べ5名4回/ （利用者2名）	延べ5名3回/ （利用者3名）	延べ2名2回/ （利用者2名）
その他						

グループホームマナの家 2024年度事業報告（案）

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. その人の持てる力を発揮して頂く。
2. 地域と関わりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

1. ご利用者個々の思いが実現できる生活作りを支援する。
2. ユニットを超えた職員間の連携でチーム力を高める。
3. BCPの充実と職員の周知を図る。
4. 役割や研修を通じて人が育つ組織作りに取り組む。
5. ご利用者の力を活かした地域交流。

行動計画

1. ご利用者個々の思いが実現できる生活作りを支援する
 - ① 従来通りケアプランに利用者の思いや意向を反映し、日々のケアにつなげた。
職員はご本人の気持ちを配慮し、入浴・食事・排泄のお手伝いやお好きな活動（塗り絵パズル、散歩など）を通して利用者がホームでの生活を安心して行えるようにした。
 - ②今年度も職員の交代があり、利用者・ご家族との信頼関係を築くことに、より一層の努力が必要であった。
2. ユニットを超えた職員間の連携でチーム力を高める
 - ①委員会は委員に決まった職員がやめてしまったりして、日々の業務の中で積極的に開催するのは難しかった。行事としては毎年行っているバザーに新しい職員が積極的に協力して参加。利用者と一緒に楽しむことでよいケアにつながったと思う。今年度のバザー開催につなげていきたい。
 - ② 日頃の各ユニットの交流は、なかなか実現が難しかった。管理者の経験不足もあり各ユニット内での職員の業務や統一したケアの確認で精一杯であった。
 - ③ ユニットを超えた職員間の連携は、2ユニットだからできるメリットであり、職員の充足が行われれば、ぜひ、できる所から交流を行っていきたい。

3. BCP の充実と職員の周知を図る

<具体策>

- ① BCP 委員会によるマニュアルの見直しを定期的に行う。
 - ・備蓄品などの確認し、マニュアルを見直し、訂正した。
- ② 感染症、災害共に BCP マニュアルの周知を図る。
 - ・職員に回覧し、確認してもらった。
- ③ 研修と訓練を行い、実践力を身につけるとともに、BCP の内容や準備の充実を図る。
 - ・実際に災害が起き、電気・水道・ガスが止まったという想定で昼食作りの訓練を行った。備蓄してある非常食を食べてみると、美味しくなかったり、飲み込みにくいものなど問題点が見つかり、良かった。定期的に試食を行う事で備蓄食品の充実を図っていきたい。
 - ・ガスコンロなど記録してあるものと実際の数が違っていたり、こまめな備蓄品の確認が必要であるとわかった。

4. 役割や研修を通じて人が育つ組織作りに取り組む。

<具体策>

- ① 係や委員会の活動内容をより明確にし、活動を行う事で介護以外のスキルを磨く。
- ② 職員個々の段階に応じてチーム作りにつながる研修の機会を設ける。
 - ・職員の数が足りない状態が続っており、日々の業務をこなすのが精一杯の状態であった。次年度にはまず、各委員会の開催を定期的で開催するところから始める。

5. ご利用者の力を活かした地域交流。

<具体策>

- ① 散歩や買い物など日常生活の中で地域との交流を図る。
 - ・ご近所の方には、こちらから積極的に挨拶をしている。道路の除雪は積極的に行い、その際、一緒になったご近所の方と「たいへんですね」と話をしたり交流に努めた。
- ② 「みんなの食堂」や「からし種バザー」などを通じて地域とご利用者をつなぐ。
 - ・みんなの食堂には、地域の方の参加もあり、弁当受け渡し時にちょっとした会話を交わすことでよい交流になっている。
 - ・バザーは、楽しみにされている方がたくさんあり、今年も地域とのよい交流の場になった。
- ③ ご利用者の運営推進会議の参加や意見の発信で、老いや認知症を抱えた当事者の言葉の深さを伝え、当事者が地域の力となるよう仲介する。
 - ・運営推進委員会に利用者も参加して、マナの家での様子やご自分の意見をお話して下さっていた。

2. 運営推進会議

年 月 日	内 容
2024年5月28日	活動内容,事故報告 ,BCP作成報告,合同外出デーの運用
2024年7月23日	活動内容.,事故報告
2024年9月17日	活動内容,事故報告,行事実施報告
2024年11月26日	活動内容,事故報告,実習生受け入れの報告
2025年1月28日	活動内容,事故報告. クリスマス会の報告
2025年3月25日	活動内容,事故報告,行事実施報告

3. 外部評価

評価機関	あいエイド新潟		
自己評価作成日	2025年	1月	15日
訪問調査日	2025年	2月	22日
評価確定日	2025年	4月	30日
市町村への結果提出日	2025年	6月	4日

4. 利用者介護度年齢別構成

めぐみ

2025年3月末

	65歳未満		65～69歳		70～79歳		80～89歳		90～99歳		100歳以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
要支援 2													
要介護 1										2			2
要介護 2								1		1			2
要介護 3							1			1			2
要介護 4					1			1					2
要介護 5													
計					1		1	2		4			8
最高年齢	94歳												
最低年齢	78歳												
平均年齢	89.3歳												
平均介護度	2.5												

5.入居期間 (2025年3月末時点)

グループホームマナの家 のぞみ

性別 区分	男性	女性	計
1年未満	0	3	3
1年～3年未満	0	1	1
3年～5年未満	0	2	2
5年～7年未満	0	1	1
7年～9年未満	0	1	1
計	0	8	8

6.入退居状況

性別 区分		2024年									2025年			計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
入居	男													男		4
	女		1		1						1		1	女	4	
退居	男													男		4
	女	1									1	1	1	女	4	
主な退居理由		・ 体調を崩されGHでの生活ができなくなり、退居される（死亡を含む）														
		・ 特養入所が決まった為。														

グループホームマナの家 めぐみ

性別 区分	男性	女性	計
1年未満	0	1	1
1年～3年未満	2	2	4
3年～5年未満	0	1	1
5年～7年未満	0	1	1
7年～9年未満	0	1	1
計	2	6	8

6.入退居状況

性別 区分		2024年										2025年			計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
入居	男													男		2	
	女									1		1		女	2		
退居	男													男		1	
	女											1		女	1		
主な退居理由		・ 体調を崩されGHでの生活ができなくなり、退居される															
		・ めぐみ開設時から入居されていた104歳の方、看取りを経て、亡くなる。															

7. 行事・面会・外出等報告

グループホームマナの家 のぞみ 2024 年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
行事	お花見 (寺尾中央公園 青山小)	端午の節句 お出かけ号タリーズコ ーヒー	お出かけ号ひらせい ホームセンター	七夕 お出かけ号ふるさと 村		敬老のお祝い
散歩	0 名	2 名 5 回	1 名 1 回	2 名 5 回	2 名 2 回	2 名 2 回
外出等	ドライブ (1 名 4 回) 通院 (3 名 4 回)	ドライブ (2 名 2 回) 合同外出 (1 名 1 回) 通院 (3 名 4 回)	ドライブ (3 名 10 回) 合同外出 (1 名 1 回) 外泊 (1 名 1 回) 通院 (2 名 4 回)	ドライブ (5 名 15 回) 合同外出 (1 名 1 回) 通院 (2 名 2 回)	買い物 (1 名 1 回) ドライブ (5 名 2 回) 外泊 (1 名 1 回)	外出 (1 名 1 回) 通院 (2 名 2 回)
面会	延べ 13 名 9 回/ (利用者 4 名)	延べ 17 名 11 回/ (利用者 5 名)	延べ 13 名 11 回/ (利用者 4 名)	延べ 5 名 4 回/ (利用者 4 名)	延べ 24 名 17 回/ (利用者 3 名)	延べ 28 名 15 回/ (利用者 5 名)
その他						地域避難訓練

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
行事		福祉バザー	クリスマス会	お正月	節分豆まき	ひな祭り
散歩	1 名 3 回	1 名 1 回	0 回	0 回	0 回	0 回
外出等	外出 (1 名 2 回) ドライブ (3 名 2 回) 通院 (2 名 3 回)	ドライブ (1 名 1 回) 外出 (3 名 3 回) 通院 (1 名 1 回)	ドライブ (1 名 1 回) 外泊 (1 名 1 回) 通院 (2 名 3 回)	外泊 (2 名 2 回)	買い物 (1 名 1 回) 通院 (4 名 4 回)	ドライブ (1 名 1 回)
面会	延べ 20 名 15 回/ (利用者 4 名)	延べ 22 名 16 回/ (利用者 8 名)	延べ 27 名 18 回/ (利用者 7 名)	延べ 5 名 4 回/ (利用者 2 名)	延べ 18 名 13 回/ (利用者 4 名)	延べ 1 名 1 回/ (利用者 2 名)
その他			避難訓練		外部評価	避難訓練

7. 行事・面会・外出等報告

グループホームマナの家 めぐみ 2024 年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
行事	お花見（寺尾中央公園 青山小）	端午の節句 お出かけ号タリーズ コーヒー	お出かけ号ひらせい ホームセンター	七夕 お出かけ号ふるさと村		敬老のお祝い ゲーム大会
散歩	1 名 35 回	3 名 14 回	1 名 9 回	1 名 6 回	1 名 4 回	6 名 6 回
外出等	ドライブ（4 名 9 回） 外泊 1 名 1 回 合同外出（1 寧 1 回） 通院 5 名 7 回	外泊（1 名 2 回） ドライブ（1 名 2 回） 合同外出（1 名 1 回） 外泊（1 名 2 回） 通院（2 名 3 回）	外出（3 名 8 回） 合同外出（1 名 1 回） 外泊（1 名 2 回） 通院（2 名 2 回）	外出（2 名 4 回） 合同外出（1 名 1 回） 外泊（1 名 1 回）	買い物（1 名 1 回） ドライブ（1 名 4 回） 外泊（1 名 1 回） 外出（2 名 3 回）	買い物（1 名 2 回） ドライブ（1 名 4 回） 外泊（1 名 1 回）
面会	延べ 29 名 25 回/ （利用者 6 名）	延べ 19 名 15 回/ （利用者 4 名）	延べ 4 名 2 回/ （利用者 2 名）	延べ 10 名 9 回/ （利用者 5 名）	延べ 27 名 23 回/ （利用者 7 名）	延べ 25 名 20 回/ （利用者 6 名）
その他						地域避難訓練

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
行事		福祉バザー	クリスマス会	お正月	節分豆まき	ひな祭り
散歩	1 名 7 回	1 名 10 回	1 名 5 回	1 名 6 回	1 名 4 回	1 名 6 回
外出等	買い物（2 名 2 回） ドライブ（1 名 2 回） 外出（2 名 回） （通院 3 名 5 回）	買い物（2 名 2 回） 外出（1 名 6 回） 外泊（1 名 2 回） 外泊（1 名 2 回） 外泊（1 名 2 回） 通院（5 名 6 回）	外出（1 名 6 回） 外泊（1 名 2 回） 外泊（1 名 2 回） 通院（3 名 3 回）	買い物（1 名 1 回） 外泊（1 名 2 回） 外泊（1 名 2 回） 外泊（1 名 2 回） 通院（3 名 3 回）	外泊（1 名 1 回） 通院（2 名 3 回）	外出（1 名 1 回） 外泊（1 名 1 回） 通院（2 名 2 回）
面会	延べ 27 名 23 回/ （利用者 17 名）	延べ 13 名 11 回/ （利用者 6 名）	延べ 22 名 19 回/ （利用者 7 名）	延べ 17 名 17 回/ （利用者 8 名）	延べ 14 名 13 回/ （利用者 6 名）	延べ 6 名 16 回/ （利用者 4 名）
その他			避難訓練		外部評価	避難訓練

共用型デイサービスマナの家 2024年度事業報告（案）

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

重点目標

1. ご利用の回数の中でも満足感を得て頂けるようグループホームのご利用者との交流や作業等の楽しみを増やす。
2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。
3. 認知症対応のグループホームの専門性を活かしたケアで、認知症を抱えても安心して過ごせるサポートを行う。

行動計画

1. ご利用の回数の中でも満足感を得て頂けるようグループホームのご利用者との交流や作業等の楽しみを増やす。

<具体策>

- ・利用日を考慮して行事などを計画し、ホームのご利用者と共に楽しめる機会を設ける。
- ・職員間で情報を共有し、ご利用者の活動や楽しみの幅を広げる。

○利用日を考慮し、誕生日会などを開催、楽しんでもらった。新しい職員には対応の仕方など伝え、ご利用者がいつも通り利用して頂けるよう配慮した。

2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。

<具体策>

・全職員がニーズや支援内容を把握する（情報の確認）。連絡帳に行っていたこと、様子、心身の変化への気づきを意識して記載する。（詳細な情報提供）。日常の記録を元に月一回の担当ケアマネジャーへのモニタリングの作成を行う。支援内容の変更が必要な場

合などもあるため、日頃から心身の状態の変化に気づけるよう視点を持つ。

- ・ご家族の悩みや不安などもケアマネジャーや他の事業所と共有し、連携を図る。

○今年度は他事業所との交流ができなかった。情報交換は電話や FAX のやり取りとなった。

3. 認知症対応のグループホームの専門性を活かしたケアで、認知症を抱えても安心して過ごせるサポートを行う。

<具体策>

- ・ご利用者の抱える症状に合わせた対応を模索し、不安や混乱の軽減を図る。

- ・サービス担当者会議などで、認知症ケアについて伝え、ご利用者の理解につなげる。

○職員不足で送迎が難しくなり、ご利用者のご家族と話し合い、他事務所の利用へつながったことで、8月以降の利用はなくなった。

からし種・愛隣包括支援事業 2024年度事業報告(案)

地域福祉事業 マナの家・みんなの家マナ 2024年度事業報告

基本理念

- ・親子が地域で安心して子育て、子育てができる。
- ・障害があっても、老いても、安心して住み慣れた地域でずっと暮らせる。
- ・地域で支えあえ、地域で育て、地域で見守るたまり場を提供し、交流を図る。
- ・赤ちゃんからお年寄りまで、安心して預かることができる。

重点目標

1. 自主事業の発展と拡大のため、総合的に管理運営できる組織編成を行う。
2. 公共事業としての各事業の連携、スタッフ間の情報の共有化を図る。
3. 新型コロナウイルス等の感染予防対策の徹底化を図る。
4. 感染予防の相違工夫により、地域住民との新たな出会いとつながりの継続性に取り組む。

1 愛隣包括支援事業(みとり支援)行動計画及び評価

- (1) その人らしく最後まで暮らすことができるよう、本人、家族の思いをしっかりと受け止めることに努める。
 - ① 2024 年度は、愛隣包括事業のマナの家においてみとり支援の対象者はいなかったが、グループホームにおいてみとり支援を実践できた。できるだけ、入居者と家族の時間を大切にすることに心がけるとともに、細かな観察、声掛け表情などにより本人の思いの受け止めに努めた。
- (2) 新型コロナウイルスの感染防止策の徹底を図りながら、戸外への散歩やドライブなどの外出を試みるなど、活動の場を広げていく。
 - ① 2024 年度の入居者は、「要支援1」の方が1人であった。本人は、マナの家の周りの散歩などはあまり好まなかったため、定期受診の送迎時、本人の要望により、海岸や松林をドライブしながら風景を楽しみ四季の移り変わりを感じてもらえるように努めた。

(3) 看取り介護の充実を図るため地域医療並びに介護関係機関との情報交換を密にしながら信頼関係を築き、本人・ご家族の意向に添える安らかな自然死を迎えられるように支援する。

① 看取り介護はなかったが、入居者が突然水分や食事を摂取できなくなり検査しても原因ははっきりせず(精神的なものか?)、体力が落ち歩行不可能となり、入院治療が必要となったことがあった。その時は、クリニック、病院、家族、居宅介護支援事業所と連携しスムーズな入院・退院につなげることができた。

(4) 入居者があった時及び入居者に変化があった時にスタッフ会議を開催し、入居者の状態に合った安心、安全な介護が、職員全員がタイムリーにできるように努める。

① 現在入居者は「要支援1」の方が1人のみのため、今までのように大勢の職員は不要のため、希望によりグループホームへの配置換えを実施して、対応している状況のため、スタッフ会議は実施しないで対応。ただ、一時的に介護が必要になった時には、退職された方に応援を頼むなどして対応。快く介護に参加いただくことができた。

(5) 看取り希望の入居希望者が少なくなっており、現在は1名の利用である。今後、入居希望者があった場合には、家族と十分に話し合いながら、職員体制を整え自主事業としての健全な経営を目指す。

① 2024年度には、「看取り介護」を希望する方はみられなかったが、今までの職員がグループホームへの配置換えとなったため、職員体制の面から希望があってもすぐ入居できる状態にない。したがって、今までのように積極的に入居を勧めるわけにもいかない状況にある。

② 現在、入居している方が安心して継続入居できるよう、また、強い入居希望者のために愛隣包括支援事業「マナの家」の存続が必要と思われる。

2024年度 みんなの食堂報告

※みんなの食堂をお弁当方式(夕食)で開催

開催日	参 加 者 人 数							
	お弁当食数				関係者			
	大人	子ども	未就学児	合計	ボラン ティア	スタッフ	講師そ の他	
4月22日	54	14	15	83	4	3	0	・今年度は感染症による中止はなく予定通り11回の開催ができた。 ・今年度職員体制が新しくなった。 ・新しいボラの方の参加があった。 ・食材提供は、今年度も引き続き提供があり、とても助かっている。 ・お米不足があり、お米の調達方法を工夫しないといけない。 ・弁当容器も値上がりしている。
5月27日	62	19	19	100	4	3	0	
6月24日	57	17	18	92	4	3	1	
7月29日	58	18	18	94	4	3	1	
8月26日	56	16	18	90	4	3	1	
9月25日	67	27	24	118	5	3	1	
10月28日	55	11	17	83	5	3	1	
12月18日	55	13	17	85	5	4	1	
1月22日	70	25	24	119	5	4	0	
2月24日	53	11	15	79	5	3	1	
3月24日	62	14	14	90	5	3	1	
計	649	185	199	1033	50	35	10	

※JA共済連新潟、いっぺこーとより野菜、肉、米の食材提供毎月あり。